

報道関係各位

2022年11月11日  
株式会社 LIXIL

## 「PRIDE 指標 2022」において6年連続で最高位「ゴールド」を受賞 ～インクルーシブな社会を目指し、社内外において積極的に情報発信したことが評価～

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 work with Pride（以下：wwP）による、LGBTQ+ などの性的マイノリティに関する取り組み評価指標「PRIDE 指標」において、6年連続で最高評価の「ゴールド」を受賞しました。



LIXIL ではコーポレート・レスポンシビリティ戦略における優先取り組み分野の一つに「多様性の尊重」を位置づけており、2030年までにLIXIL全体にインクルージョンの文化を定着させ、ジェンダー不均衡を是正することを目標としています。

本年2月には、グローバル規模の従業員リソースグループ（ERGs：Employee Resource Groups）として、ジェンダー平等、多文化、障がい、働く親や介護者、LGBTQ+にフォーカスした5つのグループを立ち上げました。ERGsは従業員が主体となり、従業員同士のつながりを強化しながら活動しており、各グループにはエグゼクティブ・スポンサーとして執行役が就任し、活動を支援しています。LGBTQ+のグループでは、性的マイノリティの理解を深めることを目的に、従業員参加型のワークショップ開催、社内SNSでの積極的な情報発信などを行っています。

また社外に向けては、パブリックトイレの情報を特化したWebサイト「LIXILパブリックトイレラボ」を制作し、2022年3月31日に公開しました。このWebサイトでは、【「トイレへのアクセス」は、基本的人権のひとつです。】をサイト全体のメッセージとし、「利用者視点で考える」のカテゴリに「性的マイノリティ」のページを設け、基礎知識の提供、困りごとの周知、課題や解決策の提案などを行っています。

LIXILパブリックトイレラボ トップページ：<https://www.lixil.co.jp/ud/publictoiletlab>

その他にも、パブリックトイレにおける「性の多様性」を含むD&Iをテーマにした社外向けセミナーなどを1年間に50件以上開催したほか、高校への出前授業、トランスジェンダーに配慮したトイレ計画に関する相談対応など、様々な情報提供・情報発信を行っています。

LIXIL は今後も、「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）」を推進し、様々な視点を取り入れることで、多様なニーズに対応したイノベーションや持続可能な成長を実現してまいります。

<参考資料>

■「PRIDE 指標」について

「PRIDE 指標」は、日本で初めてとなる企業・団体等における LGBT に関する取り組みを評価する指標として、wwP によって 2016 年に策定されました。各企業・団体等の、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の 5 項目について評価項目を設定し、企業の取り組みを評価するものです。

**About LIXIL**

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2022 年 3 月期に 1 兆 4,286 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>